○ Nippon, Kamijama ナル地名ニ就テ (前川文夫)

つくしからもりさう (*Cacalia nipponica* MIQUEL) ハ PIEROT ガ prope oppidum Kamijama ins. Nippon デ採ツタト MIQUEL ハ Annales Musei Botanici Lugduno-Batavi 2: 181 (1866) ニ記ス。卽チ直譯スレバ本州カミヤマ村附近デアル(當時ノ外人ハ本州ヲサシ日本ト書イテ居タ)。シカシ原標本ニハ oppido ノ文字ガナイ(小泉博士 Symbolæ Fl. Jap. 2 (1930)參照)。考ヘラレルノハ先ヅ東海道ニ沿ツタ伊勢龜山ト箱根神山トデ、共ニ德川時代ニ江戶ヘ往復ノ外人ガ採集スル可能性ハ多イガ記載ニ合フ *Cacalia* ハ同地並ニソノ附近ニハ全然ナク却ツテ九州ニハ相當ニ分布スルカラ、ソノ種類ガ今ハ絕滅シタト考ヘルヨリハ地名ノ書キ損ジト見タ方ガ穩當デアル。旣ニ松村先生ハ名鑑ニ Kamiyama (Hizen) トシテ居ラレルカラ氣付イテ居ラレタノデアラウガ、ドンナ字ヲ宛テルカ判ラナイ。デ自分モ以前九州ノ地名ヲ大分漁ツタガ無駄デアツタ。所ガ偶然ソレカト思フモノヲ見付ケタ。ソレハ廣重描ク處ノ錦繪デ六十余州名所圖會ノ中ノ肥前長崎稻佐山ノ圖デアツタ。同圖ニハ稻佐山ノ外ニイクツモ山ガ描イテアツテソノ一ツニ龜山ノ名ガ入ツテ居ル。松カ何カ黑々ト茂ツテイカサマ *Cacalia* ガアツテモヨサソウデアルシ、又長崎附近ナラバ當時出島ヲ根據トシタ和蘭人ガ採集ヲ試ミタ可能性モ多イ。發音モ殆ンド同ジデアルカラ恐ラクつくしからもりさうノ基準產地ハ肥前長崎附近ノ龜山デアルトシテ十中八九間違ヒハナカラウ。本州トナツタノハ MIQUEL ガ九州ノ地理ヲ知ラズ早呑込ミニ東海道ノ龜山ト決メテシマヒ餘計ナ文字ヲ書キ添ヘタ爲デアラウ。ソレガ昭和ノ初メ迄禍シテコノ學名ガ歸スルトコロヲ得ナカツタトハ恐ルベキコトデアツタ。因ニ上記ノ廣重ノ圖ハ鐵道省日本案內記九州篇(昭和10年)表紙裏ノ見返ニ出テ居ル。北村博士ガ植物分類地理 7-4 ニ書カレタコトニ對シテコヽニ記シテ責ヲフサグ。

○土佐東部ニ於ケル著シキ植物ノ分布 (吉永虎馬)

土佐國安藝郡野根町附近ハ阿波國境ニ近ク室戶崎ヨリ北方ニ連リタル紀伊水道ニ面スル沿海地方ニシテ氣候溫暖降水量多ク從來植物ノ分布ニ就キテ期待サルル所多カリシモ漸ク其一部分ノミ知ラレ居タルガ山脇哲臣氏ガ同町國民學校ニ奉職サルルニ及ビ氏ノ慧眼ト採取ニ特殊ノ技能ヲ有セラルルニヨリテ僅ノ年月間ニ於テ重要ナル植物ノ存在ヲ明カニシ我室戶半島並ニ足摺半島ヲ介シテ伊豆半島及紀州半島ヨリ九州ニ亙ル植物分布ニ就キテ新知見ヲ加フルニ至レリ。尙今後續々其顯著ナル種類ヲ加ヘラルベキモ先ヅ現在認メラレタルモノヽ中著シキ羊齒類ヲ左ニ略記シテ報告スルコトトセリ。

あつした、くさまるはち、おほいはひとで、すぢひとつば、りうびんたい、ひのきしだ、ほうのかはしだ、をとこしだ、をながうらぼし、あみしだ、こくまうくじゃく、しろやましだ、ひめさじらん、たきみしだ、おほばのあまくさしだ、ひめはしごしだ、きくしのぶ、なんかくらん、すぎらん、

きくしのぶハ從來紀州半島及九州ニ於テ知ラレタルモ我四國ニ於ケル分布ハ未知ニ屬シ其所生ヲ期待サレ居タルガ最近ニ至リ甚少量ナガラ野根町眞砂瀨ノ岩上ニ於テ終ニ之ヲ見